

お花の栽培シリーズ「ラナンキュラス」		
2006年10月	神無月(かんなづき)・神去月(かみさりつき)・時雨月(しぐれづき)・良月(りょうげつ)・小春(しょうしゆん)	●秋まき草花が育ち、根を伸ばす時期です
●山では、美しい紅葉が見られ、初雪の知らせも聞かれたりします。 ●そろそろ防寒の準備が必要になってきます。		
庭木の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・10月は、各地で植木市が開かれる時期ですが、木の植え替え時期としては 適当ではありません。常緑樹には少し遅く、落葉樹には早すぎるためです。ですが、ツツジ類や イヌツゲ、アベリアなどの株物は、厳寒期と成長期をのぞいて いつでも可能です。 ・成長が とまるので、刈り込みには ちょうどよい時期です。 ・バラは、花が終われば 切り戻しをして 二番枝をださせるようにします。 	
草花の作業	<ul style="list-style-type: none"> ・春咲き球根の植えつけ ・夏咲き球根を掘りあげて、保管する。 	

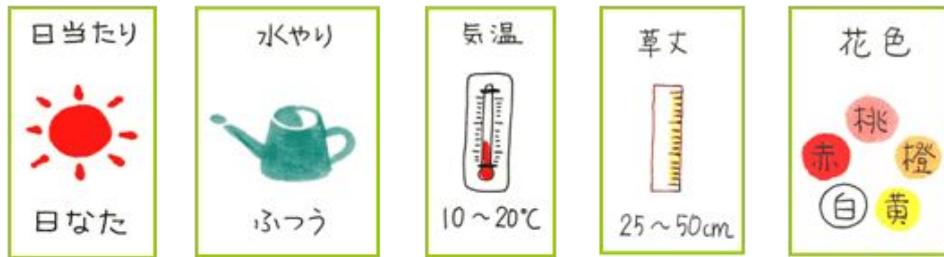
今月の誕生花	キンモクセイ、コスモス、マリーゴールド、シオン	
今月の花	<p>キンモクセイ 花言葉 / 謙遜、(キンモクセイ) あなたは高潔です、(ギンモクセイ) 初恋</p>	
	<p>キンモクセイは、花の色が黄色なので こう呼ばれています。 白色の花は、ギンモクセイと呼ばれていて、ともに中国から 渡来したモクセイ科の樹木です。 ギンモクセイは、17世紀後半あたりの かなり古い時代に 日本に入ってきたといわれていますが、キンモクセイのほうは、明治にはいってからもたらされた・・・といわれています。 花言葉は、「謙遜」ですが、これは 春のジンチョウゲと並ぶほど 素晴らしい 秋の香りの キンモクセイが、そのうっとりときさせる香りで 人を魅了するにもかかわらず、花は 意外と地味なことから・・・だといわれています。</p>	
	<p>キンモクセイは 葉の汚れをきらうことがあります。 もし、庭にあるキンモクセイが 例年は よく花が咲いていて 香りが強かったのに、最近は ほとんど咲かなくなった・・・、あるいは 香らなくなった・・・という場合は、よく 葉に水をかけてやりましょう。 葉の汚れをとってあげれば、また よい香りを振りまいてくれるでしょう。</p>	
	<p>原産地は中国。モクセイ科モクセイ属の常緑小高木。高さは4m内外。開花時期は9～10月。最盛期は10月。葉の形状は、長さ5～9cm。革質、裏面やや黄色。花色は、黄橙色。英名フラグラント・オリーブ (Fragrant Olive)。別名 木犀花(もくせい花)、丹桂</p>	
<p>空気が汚染されていると、花が咲かないといわれていて、大都市では 咲かないことがあります。</p>		



お花の栽培シリーズ

今月の花

ラナンキュラス



鮮やかな色彩で ボリューム感のある派手な花で、切花にも 鉢植えにも楽しむことができます。

基本色は、黄色ですが 園芸種は赤、白、サーモンピンクなど さまざまなものがあります。

花壇に 少しスペースをとって いろいろな色を群植させると 見事になります。 植えつけは、10月~11月。

植えつけ前のラナンキュラスの球根は、カラカラに乾いているので 急に吸水させると 傷んで腐ってしまいます。

ゆっくり吸水させて 芽だしをさせてから 植えつけます。

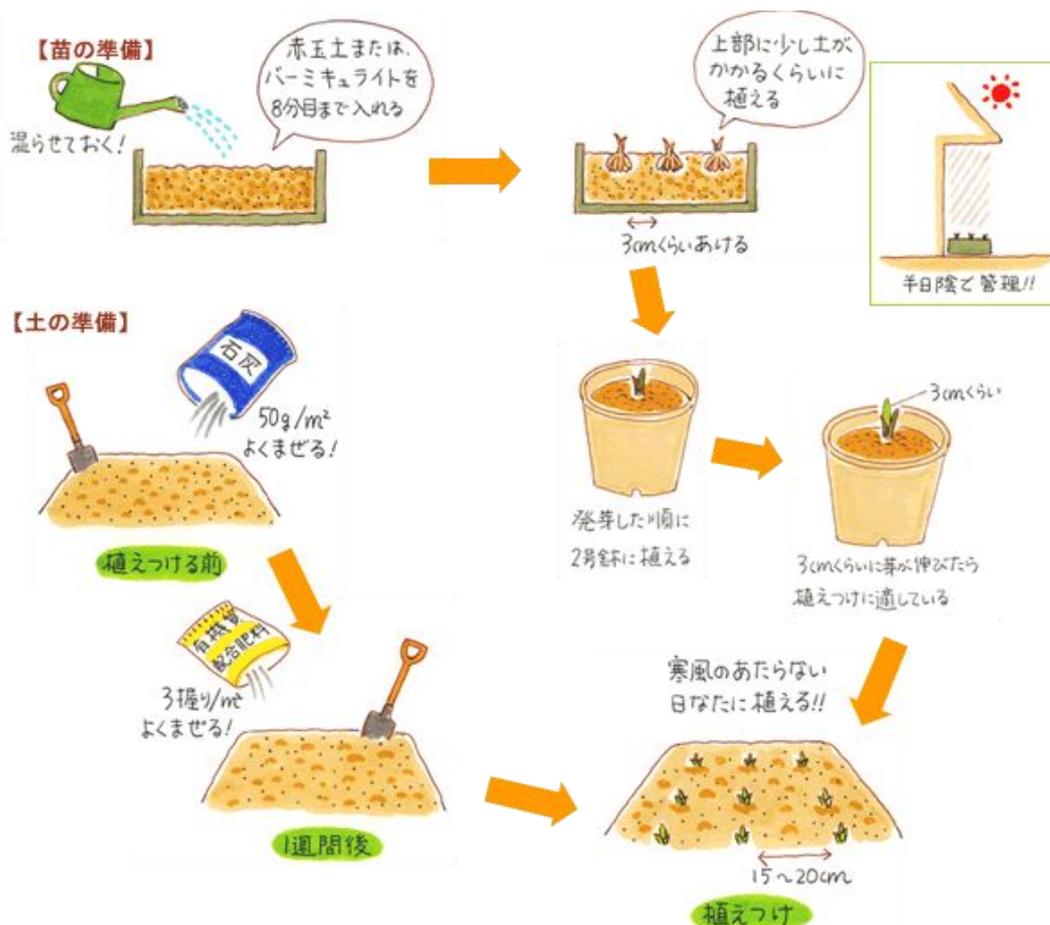
花が終わった6月に 球根を掘りあげ、日なたで 乾かしてから、風通しのよい 涼しい場所で 保管します。

3月ごろに 葉に白い筋ができれば ハモグリバエの被害をうけている可能性があります。

見つけたら できるだけ早く、ディブテレックスや アンチオなどの殺虫剤を散布して 駆除します。



● 植えつけのやり方



●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況	 花期											
置き場	屋外の日当たりのよい場所						屋外の半日陰			屋外の日当たりのよい場所		
水やり	2~3日に1回		1日に1回			表土がかけわたら与える(2~3日に1回)						
肥料	10日に1回の割合で濃い液肥を与える						元肥 ●					
病気害虫	うどんこ病に ベンレート、ボトリチス病にオンサイドなどを散布する ハモグリバエの予防に1週間~10日おきにディブテックスやアンチオなどの薬剤を散布する											
作業	芽だし 植えつけ 霜よけ 掘りあげ											